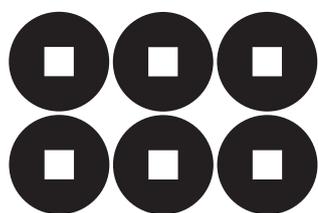


『仙台真田代々記』の著者
小西幸雄氏による待望の新刊

11月15日刊行!!

真田幸村子孫の 仙台戊辰史

— 真田喜平太の生涯 —



260年余の長きにわたる太平の時代は過ぎ去り、激動の時代へと急転した幕末期。仙台藩の存続をかけて奔走した武士がいた。西洋流砲術を修めて藩内の兵制改革を成し遂げ、藩参政の重職にあつて勤王思想に基づく進歩的な政策の数々を藩主に建言した武士…その名は真田喜平太。彼は父祖伝来の家紋である『六文銭』を描いた隊旗を掲げ、敗色濃厚となった戊辰の役に臨んだ。

江戸初頭に勃発した大坂夏の陣で壮烈な討死を遂げ、日本一の兵と讃えられた武将・真田幸村の11代目の子孫にして文武両道・志操堅固・高德望重なる傑物・真田喜平太の生涯と、知られざる仙台藩の戊辰史がいま解き明かされる。

『真田幸村子孫の仙台戊辰史—真田喜平太の生涯—』目次

- | | |
|--------------|---------------|
| 第一章 生い立ちと真田家 | 第七章 郡県制建言 |
| 第二章 藩公に近侍 | 第八章 奥羽鎮撫使（前編） |
| 第三章 西洋砲術伝習 | 第九章 奥羽鎮撫使（後編） |
| 第四章 国政混乱 | 第十章 奥羽越列藩同盟 |
| 第五章 藩主上洛 | 第十一章 維新以後 |
| 第六章 大乱切迫 | |

体裁：四六判・並製、約400ページ 予価：2,100円（税込）

出版元：宮帯出版社出版部（大手書店で取扱予定）

※上記の内容については予告なしに変更することがあります。ご了承ください。

著者：小西幸雄氏

こにしゅきお

宮城県白石市生まれ、仙台郷土研究会会員。仙台真田氏研究の第一人者。
主な著書：仙台真田代々記

蔵王町教育委員会は『真田幸村子孫の仙台戊辰史—真田喜平太の生涯—』の発刊を応援します！

※本広告は『仙台真田氏ゆかりの郷・蔵王町』として本書の刊行を応援し、情報発信の支援を行うものです。
※本書は蔵王町教育委員会が刊行・販売するものではありません。

『真田幸村子孫の仙台戊辰史』についての
詳しい情報や続報はどきたん.comにて

<http://www.dokitan.com/>



蔵王町教育委員会 〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町円田字西浦北10 TEL: 0224-33-2328 FAX: 0224-33-3831